

日本大学経済学部
令和7年度グローバル社会文化研究センター
第2回 学術講演会

■講演テーマ■

**LGBTQ+を取り巻く現状と
社会的課題**

【講演者】

**筑波大学人間系研究員
渡邊 歩 氏**

■ 講演概要 ■

LGBTQ+(性的マイノリティ)を取り巻く社会情勢は、2010年代半ばから急速な変化を見せており、例えば2015年に渋谷区を皮切りに全国で広まる同性パートナーシップ制度、性的指向・性自認に関するハラスメントの禁止(パワハラ防止法)、LGBT理解増進法等の施行等が記憶に新しい。世間でもLGBTQに対する理解は広まりつつあるが、「人権」をめぐりSNS上ではヘイトスピーチやデマも横行している。

本講演では、LGBTQ+を含む多様な性の構成要素(性自認、性的指向、性別表現、身体的性等)について、ジェンダーやセクシュアリティの視点から深く学ぶ。その上で、LGBTQ+を取り巻く現状と社会的な課題について概観し、特権や社会モデルの視点から、どんな性のあり方の人も過ごしやすい共生社会について考える。

日時:2025年12月9日(火) 17:00~18:30

開催場所:日本大学経済学部 3号館11階 3111教室

対象:教職員・学生・一般聴講者 ※聴講は無料です。

**Center for Global Studies on Culture and Society
College of Economics, Nihon University**